

表1 「新古改撰誌記」の内訳

巻号	資料番号	表題	主な内容（「」は原文書から採録）
一	95201731	（諸達書・願書・伺書留帳）	寛政九年八月より文政元年十一月まで
二	95201732	（諸達書・願書・伺書留帳）	文政元年十二月より文政十年十二月まで
三	95201733	（諸達書・願書・伺書留帳）	文政十一年正月より天保三年十一月まで
四	95201734	（諸達書・願書・伺書留帳）	天保四年四月より天保十二年十二月まで
五	95201735	（諸達書・願書・伺書留帳）	天保十三年正月より嘉永四年三月まで
六	95201736	（諸達書・願書・伺書留帳）	嘉永五年正月より安政五年八月まで
七	95201737	（組筋・跡役之者覚書）	主に五役の頭の跡役人事について
八	95201738	（諸一件留）	逐電一件、追放一件、押込一件など
九	95201739	御役出 目付無役 跡抱	跡式・他場所出役・目付支配無役の仰渡など
拾	95201740	（御中間勤方及其他達留帳）	転役・装束・宿直・川筋御成の勤方、御移徒御参詣御出棺御供など
十一	95201741	御吉凶事并小金御鹿狩一件	吉事等の節の御供行列勤方、小金鹿狩御供など
十二		欠 本	
十三	95201742	在方□（留力）	在方御成の節の勤方、小金鹿狩御供など
十四	95201743	日光御参詣一件・壺・三冊之内（内題「日光御参詣并御留守中御用留・天」）	天保十四年度日光参詣へ出立前の記事
十五	95201744	日光御参詣一件・壺・三冊之内（内題「日光御参詣并御留守中御用留・地」）	天保十四年度日光参詣へ出立前と留守中の記事
十六	95201745	日光御参詣一件・壺・三冊之内（内題「日光御参詣并御留守中御用留・人」）	天保十四年度日光参詣へ出立後の記事
十七	95201746	天保度減方書類	諸所御成の節の雨天濡御手当減方に関する取調書など
十八	95201747	天保度減方書類（内題「御改革ニ付減方被仰渡其外申上御用留并辰年炎上之節焼失并損物申上覚」）	「御中間方役々并御番所向年々定式請取物減方之儀申上候書付」「御両丸御城内外御成御供人数書」
十九	95201748	天保度減方書類	「御本丸西丸御馬牽人濡御手当金調」「御炎上之節諸番所向部屋々諸道具焼失并損物取調申上候覚」など
二十	95201749	（御中間諸届留帳）	御旗指之者御厩より紋付筭拾取持帰候一件、御中間召捕揚屋入一件、御中間身持不宜ニ付久離一件など
廿一	95201750	御救金一件	御中間居宅類焼御救金一件、地震ニ付居宅潰類焼之者一件など
廿二	95201751	跡役・跡番	中間の諸掛跡役・跡番について
廿三		欠 本	
廿四	95201752	隠居・家督伺・式冊之内	隠居家督、病死跡式、病免など
廿五	95201753	無役之者取扱一件	無役之者の隠居家督・跡式・帰番について
廿六		欠 本	
廿七	95201754	借地・縁組・懸合済	養子・縁組・賃地・借地などに関する外向への掛合について
廿八	95201755	（諸事一件留帳）	日光御進献御馬牽人勤方、前田半次郎遠島一件、御三家御三卿方御立寄など
廿九	95201756	（切米支給ニ付諸事一件留帳）	拝領屋敷願類例、御乳御用、逐電一件など
三十	95201757	（諸達書・願書・伺書留帳）	嘉永七年九月より文久二年三月まで
卅一	95201758	（諸達書・願書・伺書留帳）	文久元年三月より十二月まで、後半は「皇妹和宮御方と御縁組被仰出より御婚礼済迄御書付」
卅二	95201759	（諸願・届・伺書方留帳）	「年番ニ而取扱品」「御中間御役成之節願書并御断り其外取扱候廉々書類文例」「跡役伺・跡番伺・跡抱伺・隠居家督伺・跡式伺・御奉公差免伺・直勤申上・濡御手当願・羽織御断・御役出願・右廉々文格并規則書方」
卅三	95201760	新古抱代々記	「寛政以前御抱入之者代々記」「新規御抱入之者代々記」
卅四	95201761	部屋住代々記	「従部屋住御抱入之者代々記」

※田原昇「江戸城内の運営と「五役」―「新古改撰誌記」より」（『東京都江戸東京博物館研究報告12号』2006年）掲載の表を一部改変した。

※巻号は原史料の表記に拠った。また表題、主な内容とも「」付きの文書は原文書から採録した。